

第7回堺市 PFI 事業検討委員会（堺市立学校給食センター整備運営事業）
議事要旨

1 開催日時及び場所

令和4年8月22日（金）14:00～18:40

堺市産業振興センター5階 コンベンションホール

2 出席者

（堺市 PFI 事業検討委員会）

北詰委員長、石田委員、勢戸委員、橋元委員、吉原委員

（事務局）

学校給食課、政策企画部民間活力導入担当

3 配付資料

- ・資料1 時間割
- ・資料2 最終評価表
- ・資料3 各入札参加者の提案審査書類
- ・資料4 審査講評案

4 審議案件

(1)（仮称）堺市立第2学校給食センター整備運営事業に係る加点項目審査

(2)（仮称）堺市立第2学校給食センター整備運営事業に係る審査講評

5 審議内容

(1)（仮称）堺市立第2学校給食センター整備運営事業に係る加点項目審査

【入札参加者のプレゼンテーションと委員からの質疑応答】

①32グループに対するヒアリング

- ・32グループのプレゼンテーションの後、各委員からの質問に対し、32グループが回答した。主な質問は次のとおり。
 - 作業動線図、作業工程表等どのように作成しているか。
 - 開業準備について、2回目の4,000食はアレルギー対応献立のみ作成する予定か。
 - 食育におけるICTについて、配信頻度の想定範囲、保護者へのアプローチ、SNS等の外部ツールの利用の有無について教えていただきたい。
 - パート社員の業務従事の方法について教えていただきたい。
 - 食物アレルギー対応食に従事する担当者の資格取得の有無について教えていただきたい。
 - 本事業において、これまでの事業経験を活かすことができる共通項と特異項を教えていただきたい。
 - 引継ぎ業務について、最終的な段階での検討時に、期間全般にわたって把握しておかなければならない重要な情報の一例を教えていただきたい。

- SDGs に関して、目標達成の指標として定量化を求められることがあるが、定量化への対応策は考慮しているか。

②69 グループに対するヒアリング

・69 グループのプレゼンテーションの後、各委員からの質問に対し、69 グループが回答した。主な質問は次のとおり。

- 残渣を堆肥化する場所はどこの予定か。
- 代表企業の経験食数の最大食数が 4,000 食を下回るが、今回の運営に向けて研修などの対応は考えているか。
- 地元雇用による知り合いや友人等の馴れ合いによる問題発生を防ぐための工夫は考えているか。
- 一方通行にならない双方向の食育推進とは具体的にどのようなものか。
- 女性雇用について、賃金の上昇を伴う人材育成は考えているか。
- 他のグループは全国の実績数が多い。全国実績はないが、堺市にとって他のグループより優位となる点は何か。
- 堺市ならではのマニュアルの特徴をとらえた強みをあげていただきたい。
- 調理員が給食調理データを調理場に持ち込むのか。
- 開業準備計画表に対するトータルコンセプトは何か。

③83 グループに対するヒアリング

・83 グループのプレゼンテーションの後、各委員からの質問に対し、83 グループが回答した。主な質問は次のとおり。

- アンケートから得られた情報を具体的にどのように調理に反映する予定か。
- 障害者雇用について考え方について教えていただきたい。
- 特別洗浄室の仕組みについて教えていただきたい。
- 事業引継ぎのための建物総合診断の項目として、重要と思われる具体例は何か。
- 堺市の要求水準に合わせてカスタマイズした点を示していただきたい。
- 55 年間食中毒発生件数 0 の実績を継続できている策として何があるか。

④45 グループに対するヒアリング

・45 グループのプレゼンテーションの後、各委員からの質問に対し、45 グループが回答した。主な質問は次のとおり。

- 野菜洗浄機について、どういった使用をする予定か。
- 運営設備統括責任者の実績を教えていただきたい。
- ICT を活用した食育について、給食の一連の流れを児童に興味をもって見てもらうためのポイントは何か。また、給食についての保護者へのアプローチをご教示いただきたい。
- 今までの最大事故の事例と、事故が生じたときの対応・防止策をご教示いただきたい。
- リハーサルの具体的な内容は。
- 事業引継ぎに対する考え方についてご教示いただきたい。

- PFI 事業として仮に費用を増額することができる場合、何を提案していたか。

【ヒアリング後の合議採点】

- ・委員間で各入札参加者の提案審査書類の内容について討議し、各入札参加者の加点項目ごとに4段階で評価した。

(2) (仮称) 堺市立第2学校給食センター整備運営事業に係る審査講評

- ・事務局から、これまでの審査経過をまとめた審査講評(案)を示した。
- ・委員間で、今回のヒアリング及び審査内容を踏まえ、審査講評(案)について討議し、審査講評をとりまとめた。

6 審議結果

- ・83グループを最優秀提案者として選定した。

以 上